

本校ホームページでは「上小っ子」を大きな字、カラーで見ることができます。
「上野原小学校」で検索、または URL <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

上小っ子

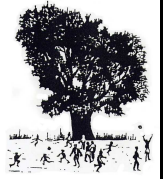
NO.8

上野原市立上野原小学校

発行日：平成 29 年 11 月 27 日

発行者：校 長 中込 一雄

TEL：62-3104



わかりやすい授業を目指して

～確かな学力を身につけ、生き生き学ぶ子供の育成～

本校は、平成26年度から3年間にわたり、県の「授業改善プラン実践事業」推進校の指定を受けて研究をして参りました。本年度は、指定校ではありませんが、3年間の研究の成果を生かしつつ、さらに研究を深めています。1学年から6学年のすべての学年で算数と理科の研究授業を実施することになっています。授業研究に向けて、指導主事や大学の先生をお招きし、指導して頂きました。これまでに、4年生の理科、1年生の算数、3年生の理科、5年生の算数の研究授業が行われました。確かな学力が身につけられるよう、今後も職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

■4年1組理科授業「とじこめた空気と水」(授業者:西出)9月20日

注射器に閉じ込めた水が押されると体積が変化するか、8つの過程(思い出そう、問題、予想、実験計画、実験、結果、考察、結論)に基づき学習しました。空気の時と比較しながら、イメージ図を使って考えました。義務教育課一ノ瀬指導主事と教育事務所河端指導主事をお招きし、指導して頂きました。

■1年2組算数授業「どちらがながい」(授業者:門田)10月25日

ますの目を数え、ますを単位として長さを表し、「～がますいくつ分長い」と表現できるよう学習しました。CMなど単位を使った長さの学習の基礎となる学習でした。教育事務所長谷川指導主事をお招きし、指導して頂きました。

■3年1組理科授業「風やゴムで動かそう」(授業者:堀)11月7日

ゴムを伸ばす長さの違いによる車の動き方を調べました。ゴムを長く伸ばしたときの手応えの違いなどの体験を生かし、予想をたて、8つの過程に基づき学習しました。予想を確かめる実験には意欲的に取り組みました。

■5年2組算数授業「分数をもっとくわしく調べよう」(授業者:行田)11月15日

この単元では通分や約分について理解し、分数の加減計算について学びました。さらに本時では、分数を用いた時間の表し方について学習しました。教育事務所長谷川指導主事をお招きし、指導して頂きました。

■6年2組理科授業「水溶液の性質とはたらき」(授業者:小澤)11月28日【予定】

金属を溶かした水溶液を蒸発させ、残った物質が別の物質に変化しているか、実験で確かめます。

■2年1組算数授業「九九をつくらう」(授業者:細越)12月11日【予定】

ものの数の求め方をかけ算を用い工夫して解決できるよう学習します。玉川大学守屋誠司先生をお招きし、指導して頂く予定です。



1年2組、長さの学習指導の様子。理解しやすいよう図を示し、指導しました。

幼保小の連携に向けて

最近「集団行動が出来ない」「授業中に座ってられない」「先生の話を受けない」という、小学校に入学したばかりの1年生が増えている「小1プロブレム」が課題となっています。確かに幼稚園や保育所では「遊び」を中心として生活するのに対し、小学校では教科等の「学習」が中心となり、その教育内容や指導方針は異なるので、それに戸惑う子供も出てきてしまうのかもしれませんが。課題克服に向けて、山梨県では1、2年生に於ける1学級の児童数を30名以下にしています。(通常3年生以上は35名以下)また、幼稚園・保育所と小学校の連携強化など、子供たちの小学校生活への円滑な移行のための取組も進められてきました。本校でも、次の視点で取り組んでいます。

1. 子供同士の交流「年長児の交流会」「運動会への参加」
 - ・児童とふれあうことで、小学校生活に親しみを持てるようにする。
 - ・幼児と関わることで、児童が思いやりの心を持てるようにする。
2. 教職員の交流「こども園・幼稚園の見学」「職員同士の情報交換会」
 - ・幼児、児童の実態や教育内容、指導方法を知り、「円滑な接続」を行う。
3. 保護者への情報提供「保護者説明会」「就学前相談と見学」(希望者)
 - ・入学前に実際に学ぶ雰囲気を見たり、不安な点等を事前に質問したりする。



交流会では、くじらぐもん朗読手遊び、じゃんけん列車などを通じて交流しました。



日	曜	主な予定
1	金	個別面談 健康カード配布
2	土	
3	日	
4	月	個別面談
5	火	けやき授業参観懇談会 個別面談健康カード回収
6	水	職員会議 クリーン作戦
7	木	個別面談
8	金	3,4年みんなで遊びの日
9	土	小林雅英野球教室
10	日	
11	月	2年1組研究授業 図書貸し出し~15日
12	火	きずなの日
13	水	集団下校
14	木	5校時日課
15	金	5校時日課
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	ランチテーブル清掃
21	木	
22	金	
23	土	天皇誕生日
24	日	
25	月	終業式 給食最終日
26	火	冬季休業日~1/9
27	水	冬季休業日
28	木	冬季休業日
29	金	年末休業日
30	土	年末休業日
31	日	年末休業日

秋の八重山プログラム、芸術の秋、

秋の八重山プログラムが始まりました。また、「芸術の秋」にふさわしい行事も行われました。

1年生は春に続いて、帝京科学大学のサークル「風の子フースケ」の学生さんと「秋の裏山探検」、5年生は都留文科大学の北垣憲仁先生を講師に「八重山動物学習」、帝京科学大学の古瀬浩史先生を講師に「八重山自然観察事前学習」と「八重山自然観察」を行いました。自然観察では、お手伝いの学生さんも大勢来てくれました。10月30日には、5,6年生を対象にオカリナ奏者の小俣達郎さんと淳子さんをお招きし、八重山で「森のコンサート」を行いました。

文化的な行事もたくさん行われました。東京音楽鑑賞協会の皆さんをお招きしての芸術鑑賞教室「和太鼓 毘沙門」の演奏、西原小学校も参加した「音楽集會」が行われました。音楽集會では、西原小の5名による合唱、1年の合唱と鍵盤ハーモニカの演奏、4年生の合唱、5年生の合唱が披露されました。どの発表も一生懸命歌う気持ちがぐっと伝わってくる素晴らしい発表でした。

1年生は裏山探検のあと、見つけたものを学生のみなさんと模造紙にまとめました。



5年生はムササビの剥製やリスの頭骨も見せていただきました。



八重山自然観察では、グループ毎にチェックポイントでの課題に取り組みました。



森のコンサートでは石、竹、葉など自然の物から奏でられる素敵な曲に癒やされました。



芸術鑑賞教室では、代表児童が和太鼓を教えてもらいました。



音楽集會で5年生は、先生方もギターやマラカスをを使って伴奏しました。



PTA スクール開催 ~SNSの落とし穴~

11月8日にPTAスクールが開催されました。本年度は、現在、山梨県警察本部少年・女性安全対策課深沢ゆり香様、上野原警察署生活安全課清水翔太様をお招きし、「小学生の陥りやすいSNSの落とし穴」という演題で講演をしていただきました。

スマホ文字は表情が見えないので、子供のトラブルの原因になるということです。「~行こう。」というメールに対して、「いいよ。」と返信した場合、「OK, いいよ」「遠慮する、いいよ」の両方があり、誤解を招くということです。また、女性になりすました男性に体の画像を送り、脅されたり画像が広がってしまったという話もありました。私たち大人もネット犯罪について理解し、子供たちを守っていかなくてはならないと痛感しました。

校長室の窓

前号でお知らせしましたが、11月22日は上小に学校林を寄付してくださった水越八重さんの生まれた日です。上小では「八重山の日」として定め、その遺徳に感謝することにしました。そこで、11月の学校集會では八重さんについての話をしました。

以下、その概略です。

八重さんは今から130年くらい前に生まれました。その頃の上野原は、まだ中央線も上野原駅もない頃です。八重さんは、上小に入学しました。ものを大切に、一生懸命勉強する子供だったようです。習字紙も真っ黒になるまで、丁寧に使ったということです。

上小を卒業し、家の手伝いや畑仕事を一生懸命したそうです。八重さんが20歳になった頃、上野原では赤痢という恐ろしい病気がはやりました。そして、大勢の人が亡くなりました。八重さんのお母さんも亡くなりました。お母さんが亡くなってからも、お母さんの代わりに一生懸命働いたそうです。

やがて、お父さんも病気で亡くなりました。一人になってしまい、心も体も疲れ切ってしまいました。しばらくして、元気になりました。それからは、心豊かに生きようと決心しました。

八重さんが、40歳を過ぎた頃、重い病気になり、寝込んでしまいました。そして、もう助からないと思ったのでしょうか、八重さんが亡くなる前の日、遺言を残しました。

「自分は一生懸命働いてきたけれど、町のためには何一つ恩返しができなかった。上野原小学校にもとてもお世話になった。学校のために、山を寄付したい。」

そして、翌日の朝6時に亡くなったそうです。まだ、44歳でした。

今、八重山は自然観察に使われたり、町の人々の憩いの場として使われたりしています。また、八重山で得られたお金も、今回のエアコンの費用の一部にも使われています。八重さんの、「町の人や上小のために役立ちたい」という気持ちが、今も生きています。

是非、そんな八重さんに感謝しながら、これからも一生懸命、学習に取り組んで欲しいと願っています。

